

イーストスプリング 韓国株式オープン

追加型投信／海外／株式

第12期(償還日 2017年4月3日)

作成対象期間(2016年11月1日～2017年4月3日)

償還日(2017年4月3日)	
償還価額	10,733円16銭
純資産総額	292百万円
(2016年11月1日～2017年4月3日)	
騰落率	8.8%
分配金合計	－円

(注)騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率で表示しています。

当ファンドは、信託約款において運用報告書(全体版)を電磁的方法によりご提供することを定めております。運用報告書(全体版)は、下記の手順でご覧いただけます。なお、書面をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<閲覧方法>

右記[お問い合わせ先]ホームページアドレスにアクセス⇒上部「ファンド情報」のタブを選択⇒「ファンド一覧」ページの中の「償還ファンド一覧」を選択⇒当ファンド記載の中にある「運用報告書(全体版)」を選択

受益者のみなさまへ

平素は格別のお引立てにあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「イーストスプリング韓国株式オープン」は信託約款の規定に基づき、2017年4月3日をもって繰上償還いたしました。

当ファンドは、主として韓国の金融商品取引所に上場されている株式を主な投資対象とする投資信託証券に投資を行い、中長期的な信託財産の成長を目指して運用を行ってまいりました。

ここに、運用状況をご報告申し上げますとともに、受益者のみなさまのご愛顧に対しまして厚くお礼申し上げます。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

【お問い合わせ先】

電話番号：03-5224-3400

(受付時間は営業日の午前9時から午後5時まで)

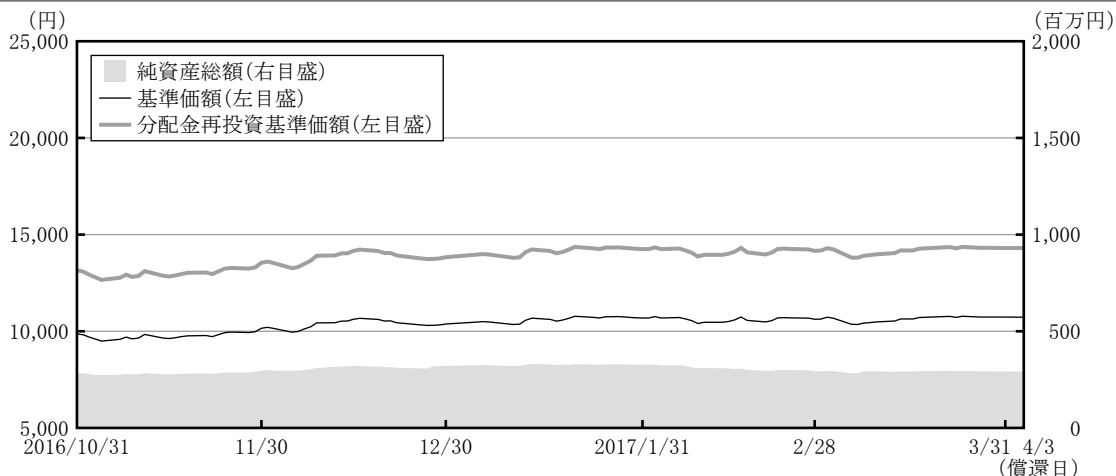
ホームページアドレス：<http://www.eastspring.co.jp/>

〒100-6905

東京都千代田区丸の内2-6-1丸の内パークビルディング

運用経過

基準価額等の推移について(第12期:2016年11月1日から2017年4月3日まで)



第12期首	9,864円
償還日	10,733円16銭(既払分配金一元)
騰落率	8.8%(分配金再投資ベース)

(注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについては、お客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

基準価額の主な変動要因

当期の基準価額は上昇しました。韓国株式市場が上昇したことに加え、米国大統領選挙後に大幅な円安米ドル高となる中で韓国ウォンが対円で上昇したことが基準価額のプラス要因となりました。

1万口当たりの費用明細

項目	当期 2016/11/1 ～2017/4/3		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	49円	0.467%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は、10,407円です。
(投信会社)	(14)	(0.134)	委託した資金の運用の対価
(販売会社)	(33)	(0.319)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(1)	(0.014)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 有価証券取引税	25	0.238	(b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数
(投資信託証券)	(25)	(0.238)	有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) その他費用	8	0.077	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保管費用)	(6)	(0.058)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(印刷)	(2)	(0.018)	目論見書および運用報告書等の法定開示書類の作成費用等
(その他)	(0)	(0.001)	余資運用に係る費用(マイナス金利相当額)
合計	82	0.782	

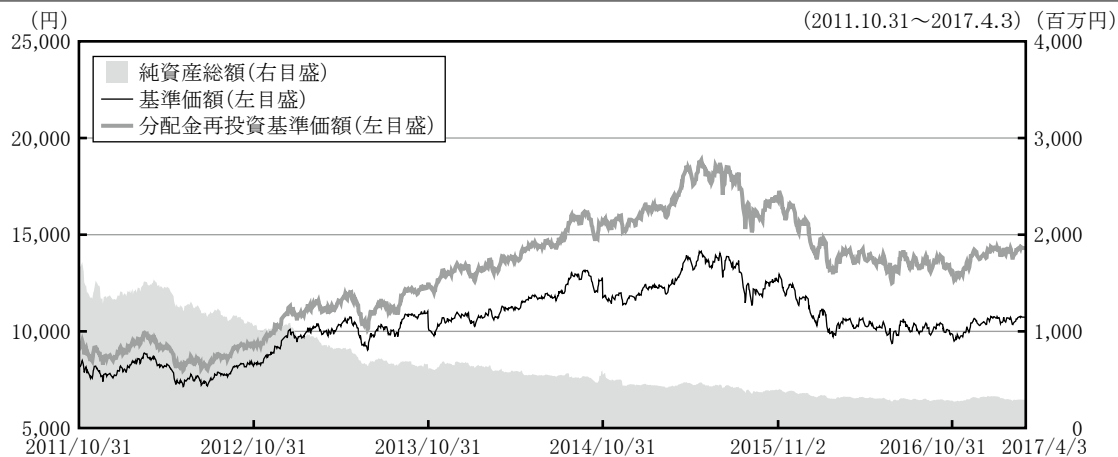
(注1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(注4) 各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。

最近5年間の基準価額等の推移について



(注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様が利用するコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

決算日	2011/10/31	2012/10/31	2013/10/31	2014/10/31	2015/11/2	2016/10/31	2017/4/3 償還日
基準価額 (円)	8,417	8,264	10,186	11,753	12,580	9,864	10,733.16
期間分配金合計(税込み) (円)	—	0	1,000	1,000	0	0	—
分配金再投資基準価額の騰落率 (%)	—	△1.8	35.4	25.2	7.0	△21.6	8.8
純資産総額 (百万円)	1,720	1,053	605	550	391	283	292

* 当ファンドの運用の基本方針に適合した、公表されている指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

投資環境について

○海外株式市況

韓国株式市場は、米国大統領選挙後の資金流出懸念などを受けて期初から2016年12月上旬にかけて軟調に推移しました。その後は原油価格の上昇や堅調な米国株式市場の動きを受けて上昇しましたが、12月の米連邦公開市場委員会(FOMC)で2017年の利上げ見通しが上方修正されたことなどから上値が重い展開となりました。2017年に入ると、良好な中国の経済指標などを背景に韓国株式市場は上昇しました。1月下旬から2月中旬にかけては米国新政権の動向を見極めたい市場参加者の姿勢により概ね横ばいで推移した後、韓国国内においては朴大統領の罷免を受け市場の不透明感が払拭されたことや3月のFOMC後に米国の利上げペースに対する懸念が和らいだことから株式市場は上昇に転じ、期末まで堅調な値動きが続きました。

○為替市況

韓国ウォンは、対米ドル、対円共に上昇しました。2016年11月に行われた米国大統領選挙後に新興国からの資金流出懸念が強まった場面や12月のFOMCで2017年の利上げ見通しが上方修正された場面で韓国ウォンは対米ドルで下落しましたが、2017年に入ると買い戻されました。対円では、11月の米国大統領選挙後に円安が進行したことから韓国ウォンは大幅上昇し期末を迎えました。

○国内債券市況

日本国債市場は下落(利回りは上昇)しました。2016年11月の米国大統領選挙後に米国債が大幅下落したことなどを背景に日本国債も下落しました。2017年1月以降は世界的に債券に買い戻しが見られたことから、日本国債も狭いレンジでの推移となりました。

ポートフォリオについて

○当ファンド

主要な投資対象の一つであるイーストスプリング・インベストメンツ・インダストリー・リーダース・セキュリティーズ・インベストメント・トラスト[エクイティ](以下「インダストリー・リーダース・セキュリティーズ[エクイティ]」)ということがあります。)の組入比率を高位に保つよう運用しました。なお、当期は当ファンドの償還に向けて、組入ファンドを全売却しました。

○インダストリー・リーダース・セキュリティーズ[エクイティ]

韓国株式を主要投資対象とし、割安と考える銘柄に分散投資を行い、リスクの低減を図りつつベンチマークである韓国総合株価指数(KOSPI)を上回るリターンを獲得を目指して運用を行いました。当期は業績成長や株主還元策への期待から上昇した電子機器メーカー株などの保有がパフォーマンスにプラスに寄与しました。一方で、中韓関係の悪化や業績への懸念から下落した化粧品・家庭用品メーカー株などの保有はマイナスに作用しました。

○イーストスプリング国内債券ファンド(国債)追加型 I (適格機関投資家向け)

主としてデュレーションをコントロールすることによって、ベンチマークであるBofAメリルリンチ国債インデックス(1-10年債)を中長期的に上回ることを目指して運用を行いました。当期は2016年11月の米国大統領選挙後に米国債が大幅下落(利回りは上昇)したことを受けて、日本国債も下落したことからマイナスのリターンとなりました。

■ベンチマークとの差異について

当ファンドの運用の基本方針に適合した、公表されている指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

■分配金について

該当事項はありません。

このたび償還を迎えるにあたりまして、当ファンドへのご愛顧に心より感謝申し上げますとともに、今後とも弊社ファンドにつき一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

お知らせ

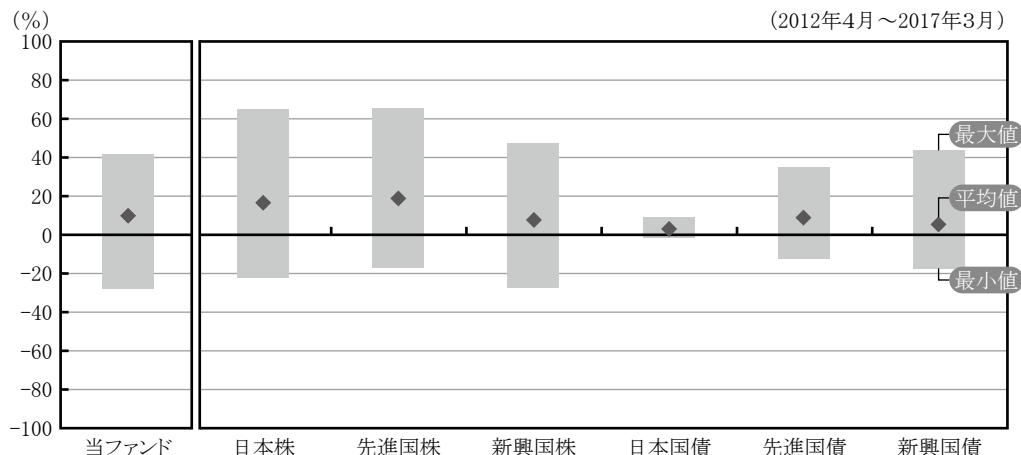
該当事項はありません。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／株式
信託期間	2006年1月31日から2017年4月3日まで(当初、無期限)
運用方針	投資信託証券への投資を通じて、主に韓国の金融商品取引所に上場されている株式に投資を行い、中長期的な信託財産の成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	外国投資信託「イーストスプリング・インベストメンツ・インダストリー・リーダース・セキュリティーズ・インベストメント・トラスト[エクイティ]」の韓国ウォン建て受益証券およびわが国の証券投資信託「イーストスプリング国内債券ファンド(国債)追加型 I (適格機関投資家向け)」の受益証券(振替受益権を含みます。)を主要投資対象とします。
運用方法	以下の投資制限のもと運用を行います。 <ul style="list-style-type: none">・投資信託証券への投資割合には制限を設けません。・外貨建資産への投資割合には制限を設けません。・株式への直接投資は行いません。
分配方針	毎決算時(10月31日。休業日の場合は翌営業日。)に、基準価額水準・市況動向等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は、収益分配を行わないこともあります。

(参考情報)

代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(%)	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
平均値	9.9	16.5	18.8	7.7	3.0	8.9	5.4
最大値	41.5	65.0	65.6	47.3	9.3	34.9	43.7
最小値	-27.8	-22.0	-17.1	-27.5	-1.3	-12.3	-17.4

※当ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように、2012年4月から2017年3月の各月末における直近1年間の騰落率の平均・最大・最小を、当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。当ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。
すべての資産クラスがファンドの投資対象とは限りません。

※ファンドの年間騰落率は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したものであり、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

<各資産クラスの指数>

日本株: 東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株: MSCIコクサイ・インデックス (配当込み、円換算ベース)

新興国株: MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円換算ベース)

日本国債: NOMURA-BPI国債

先進国債: シティ世界国債インデックス (除く日本、ヘッジなし・円ベース)

新興国債: JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド (円ベース)

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースの指数を採用しています。「円換算ベース」は、米ドルベースの指数を当社が円換算したものです。

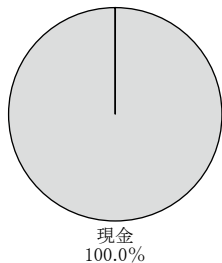
ファンドデータ

当ファンドの組入資産の内容

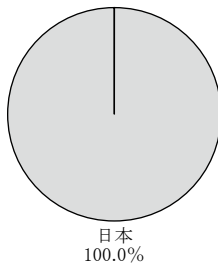
○組入ファンド

2017年4月3日現在、有価証券の組入れはございません。

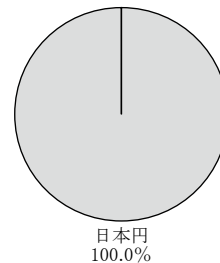
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

純資産等

項目	償還日 2017年4月3日
純資産総額	292,374,254円
受益権総口数	272,402,867口
1万口当たり償還価額	10,733円16銭

* 当期中において追加設定元本額は42,591,677円、一部解約元本額は57,764,734円です。

指数に関して

○当ファンドの投資対象である「イーストスプリング国内債券ファンド(国債)追加型 I (適格機関投資家向け)」のベンチマークについて

- ・バンクオブアメリカ・メリルリンチは、バンクオブアメリカ・メリルリンチのインデックスを何ら変更することなく使用することを許諾しており、バンクオブアメリカ・メリルリンチのインデックスに関し何らの表明をするものではなく、バンクオブアメリカ・メリルリンチのインデックスまたはそれに含まれ、関連しもしくは得られるデータの適合性、内容、正確性、適時性および完全性について保証するものではありません。また、バンクオブアメリカ・メリルリンチはイーストスプリング・インベストメンツ株式会社によるバンクオブアメリカ・メリルリンチのインデックスの使用に関し一切の責任を負うものではなく、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社またはその商品またはサービスについて何らの支持、是認または推奨をするものではありません。

○「代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

- ・東証株価指数(TOPIX)は、株式会社東京証券取引所の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウおよび東証株価指数(TOPIX)の商標又は標章に関するすべての権利は株式会社東京証券取引所が有しています。
- ・MSCI指数(MSCIコクサイ・インデックス、MSCIエマージング・マーケット・インデックス)はMSCI Inc.が算出している指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。またMSCI Inc.は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- ・NOMURA-BPIは、野村証券株式会社が公表している指数で、その知的財産権は野村証券株式会社に帰属します。
- ・シティ世界国債インデックスはCitigroup Index LLCにより開発、算出および公表されている債券インデックスであり、著作権は、Citigroup Index LLCに帰属します。
- ・JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド(円ベース)はJ.P. Morgan Securities LLCが算出、公表しているインデックスであり、著作権、知的財産権はJ.P. Morgan Securities LLCに帰属しません。